

ポブベックのやさしい投資信託

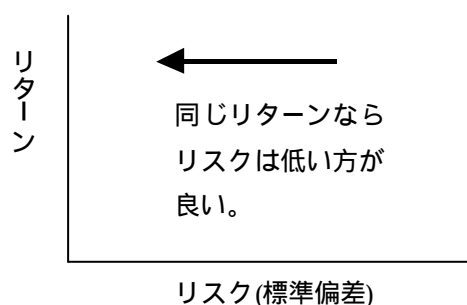
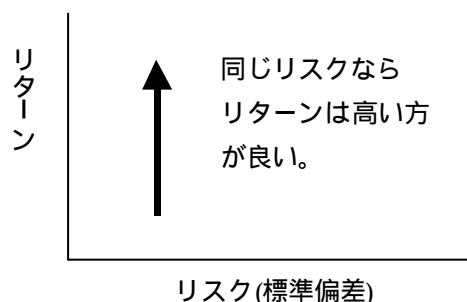
第43回 ファンドの選び方 その5

(9) ファンドの選び方

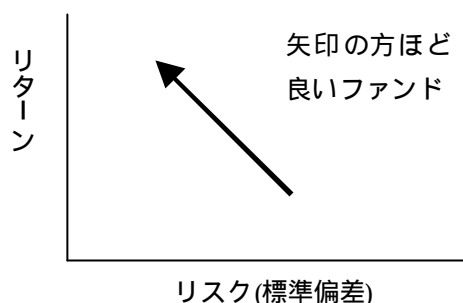
(9-C) 標準偏差とその使い方

標準偏差を使ってファンドを選ぶ

ファンドを選ぶ時に大切なのはリスクの大きさではなく、リスクに見合ったリターンが得られるのかどうかだと、前回説明しました。同じリスクであればリターンは高いほうが良い。同じリターンであれば、リスクは低いほうが良い。この原則を守る事なのです。これを図示すると以下ようになります。



この二つを合わせると、



これを式に表すと、「 $(\text{リターン} \div \text{リスク})$ が高いファンドほど良いファンド」という事になります。この式のことをシャープレシオと言います。つまり、シャープレシオの高いファンドと言うのは運用が上手なファンド、投資家が取ったリスクに対して、高いリターンを提供したファンドと言う事が出来ます。

ただし、あくまでも計算された標準偏差やシャープレシオは過去のものである事を忘れずに。ずっと同じファンドマネージャーが運用している場合には、長期的に見ると数値は安定しているものですが、ファンドマネージャーが交代した場合にはその限りではありません。

結局どのファンドを選ぶの？

シャープレシオの高いファンドが良いファンド、運用の上手なファンドなのだと言う事は理解できたと思います。ただ、

**シャープレシオの高いファンド
= あなたが選ぶべきファンド**

ではないのです。

どの程度のリスクをとるべきかを判断するのは、投資家なのです。リスク値は標準偏差で表すと言う事は既に解説しました。標準偏差が20%、即ち平均値 $\pm 20\%$ の基準価額の動きは我慢出来ると考えるか、それとも標準偏差が5%、即ち平均値 $\pm 5\%$ の基準価額の動きしか我慢できないと考えるのは投資家なのです。そして、我慢できるリスクの限度を決めたら、その標準偏差の範囲内でシャープレシオの高いファンドを購入すべきなのです。